

一般質問

6人の議員が
町政を問う



一般質問は、行政全般にわたって執行機関に疑問点をだし、説明を求めたり、所信を問いただすものです。

- 渡邊 忠義** ●福島再生加速化交付金に伴う農業水利保全管理と農業用ため池管理の整備事業等の取り組みについて **P14**

●広野町地域おこし協力隊公募について
- 遠藤 浩** ●町長の第3期町政について **P15**

●行政職員の離職について

●子どもたちの視力低下について
- 高木 光雄** ●事業執行における基本的事項の確認 **P16**

●災害廃棄物の臨時集積所設置について
- 西本 久雄** ●公道の維持管理に関する現状と今後の取り組みについて **P17**
- 北郷 伯弘** ●ごみと資源の分け方・出し方の基本ルールについて **P18**
- 西内 玄太** ●チャレンジショップの実施について **P19**

追跡

レポート

議員の質問・提言に答える町執行部、その質問・提言をどう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

令和6年5月産業厚生常任委員会 所管施設の調査について（児童館）
外部からの侵入や子どもが飛び出す可能性、館庭北側にフェンスの設置を！

令和7年1月に設置工事が完了し、子ども達が安全に過ごせる環境が整備されました。



設置前



設置後

議会デジタル化

福島県議会で研修を受けました

令和7年1月20日、福島県議会の会議用タブレット等の導入による議会デジタル化への取組について、目的、導入事例、利点、課題等について学び、本議会における今後の取組の参考とするため、議員全員参加による研修を実施しました。



取組についての説明の様子

●県議会の導入目的・利点

- 時間、場所を問わず資料を閲覧できる
- 資料等から必要な情報を検索できる
- 議会事務局との情報交換が容易になる
- 印刷製本費等が縮減できる

●県議会の使用機材・システム

- iPad pro（第5世代）
- クラウド型ファイル管理システム
- スマートディスカッション



オンライン模擬委員会の様子
(会場出席を想定)



オンライン模擬委員会の様子
(オンライン出席を想定)

●研修結果

本議会においても、操作等について十分な訓練等を行う必要はあるものの、業務の効率化、会議費用の縮減等に効果があると思われ、円滑な導入に向けた準備を進めることが重要であると考えました。

2月3日 第1回臨時会

令和7年第1回臨時会を2月3日、1日間の会期で開きました。物価高の影響を受ける低所得者世帯への給付金に係る民生費を増額する一般会計補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

高木 光雄 議員 未申告世帯数の詳細は？

未申告世帯の45世帯は事情があって申告できない世帯をカウントした数なのか伺います。

佐藤 健康福祉課長 未確認の転入世帯も含む

申告ができていない世帯と1月1日後、基準日までに転入した世帯で申告の確認ができていない世帯の対象見込み数となっています。

令和6年度2月補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1902万円	60億2139万円
主な内容		
○物価高騰重点支援給付金		1636万円
○物価高騰支援補助金		266万円